

啄木も皆々様から愛さるる事の多き此頃
何を地下にて思ひます事やら。



写真：『兄啄木の思い出』三浦光子・1964年・理論社

三浦光子(1888～1968) 啄木の2歳年下で、啄木が1歳のときに家族が移り住んだ渋民村の宝徳寺で生まれる。21歳のときキリスト教の洗礼を受け、伝道師として全国各地を飛び回った。啄木の死後、著書『悲しき兄啄木』(初音書房・昭和23年発行)を執筆、昭和35年に当時の玉山村に啄木歌碑が建つ際には除幕式にも参列している。

平成30年1月30日(火)～5月13日(日)

平成27年度以降当館に寄贈があった資料で、啄木の妹・三浦光子の手紙約30点を公開します。啄木の死後に、光子を通して見た兄・啄木や啄木顕彰について探ります。

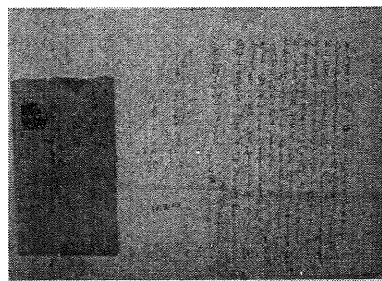
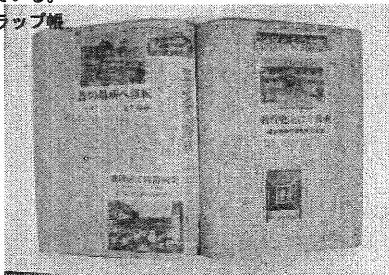
新収蔵資料展

啄木の妹・光子

啄木関連記事スクラップ帳
(浦田敬三氏寄贈)

昭和30～50年代の新聞をはじめ
啄木研究や啄木顕彰など多彩な
記事が収集されている。

※こちらのスクラップ帳
約10点も展示



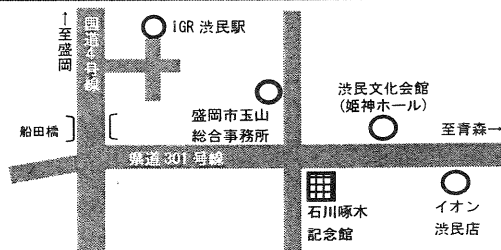
三浦光子書簡川崎むつを宛
(昭和38年9月20日・西脇美氏寄贈)
自身の著書『悲しき兄啄木』を再度
まとめ直したい旨が綴られている。

開館時間 9時～17時(入館は16時30分まで)
入館料 一般300円 高校生200円 小中学生100円
*盛岡市内にお住いの65歳以上、小中学生は無料。
休館日 毎週月曜日(月曜日が祝日の場合は翌平日)

石川啄木記念館 岩手県盛岡市渋民字渋民9

TEL 019-683-2315 FAX 019-683-3119

URL <http://www.mfca.jp/takuboku/>



主催：(公財)盛岡市文化振興事業団 共催：盛岡市 盛岡市教育委員会